



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9610 URL https://www.wlw.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 森 捷三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバル (氏名) 渡壁 淳司 TEL 03-6381-0234
 コーポレート本部本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,101	△18.7	△273	—	△285	—	△260	—
2019年3月期第2四半期	1,354	△8.3	△132	—	△117	—	△104	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △316百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △29百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△50.53	—
2019年3月期第2四半期	△20.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	3,009	2,247	74.7	436.11
2019年3月期	3,524	2,581	73.2	500.89

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,247百万円 2019年3月期 2,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2020年3月期の当該基準日における配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	9.6	△110	—	△110	—	△110	—	△21.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,154,580株	2019年3月期	5,154,580株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	542株	2019年3月期	542株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,154,038株	2019年3月期2Q	5,154,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要素により実際の業績が記述の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概要は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における企業研修市場は、米国は比較的堅調に推移しましたが、米中貿易摩擦の長期化により、中国経済の停滞感がより鮮明になりました。また欧州、特に英国においてはBrexitの影響がみられ始め、企業の研修投資に停滞傾向が出てきております。

国内においては働き方改革の影響や継続する人材不足を解決するため、また新規事業開発やオープンイノベーションの推進を人材育成によって解決したいという市場ニーズは依然高い状況にあります。これに対して、当社グループでは学びの効果向上に関するソリューションの強化、ならびに新たなリーダーシッププログラムの商品化などの商品開発投資に重点を置き、当年度は新たな成長領域への取り組みを進めておりますが、業績は前年同期の水準に至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高11億1百万円（前年同期比18.7%減）、営業損失2億7千3百万円（前年同期は1億3千2百万円の営業損失）、経常損失2億8千5百万円（前年同期は1億1千7百万円の経常損失）となっております。また親会社株主に帰属する四半期純損失は2億6千万円（前年同期は1億4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

②セグメントの業績は、次のとおりであります。

(イ) 国内

日本では、引き続きイノベーションリーダーシップ系案件の引き合いが増加傾向にあり、当該分野の新規商品開発と標準化を進めております。当第2四半期には、プロトタイプをリリースし、既に受注案件が発生しております。しかしながら前年同期の売上高には至りませんでした。

この結果、売上高5億1千9百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失1億2千9百万円（前年同期は1億1千9百万円の営業損失）となりました。

(ロ) 北米

米国では、大口顧客のライセンス契約の休止による減収の影響が引続いております。また新規営業要員の戦力化を進めておりますが、案件の創出が遅れ気味であり、売上高は前年同期を下回りました。

販売管理費については、販売促進費用をWebサイトのリニューアルおよびマーケティングオートメーションへの取組など、前年より増加させております。また商品開発については昨年に継続して実施をしておりません。

この結果、売上高6億2百万円（前年同期比25.6%減）、営業損失1億2千8百万円（前年同期は2千9百万円の営業損失）となりました。

(ハ) 欧州

ウィルソン・ラーニング ヨーロッパ（英国）の事業に、Brexitの影響が出始めており、顧客の予算計画・執行が停滞傾向にあります。通年では新規案件創出も堅調に進んでおりますが、当第2四半期の売上高は前年同期を下回りました。ウィルソン・ラーニング フランスは、従来の大口顧客との取引減少の影響が継続し、売上高が前年同期を大きく下回りました。

この結果、売上高1億6千4百万円（前年同期比28.5%減）、営業利益9百万円（前年同期比71.1%減）となりました。

(ニ) 中国

中国では、中国経済減速の影響で前年度に引き続き既存顧客に大きな影響があり、営業パイプラインは回復基調にありましたが、前年同期売上高をわずかながら下回りました。

この結果、売上高3千6百万円（前年同期比1.8%減）、営業損失1千9百万円（前年同期は2千7百万円の営業損失）となりました。

(ホ) アジア・パシフィック

インドでは、当期は予定よりスローペースとなりましたが、売上高は前年同期を上回りました。人員採用と販売促進費用が増加しております。オーストラリアでは、営業要員の交代による影響が大きく、現在体制を再構築いたしました。売上高が前年同期を大幅に下回りました。アジアでは、売上高、営業利益とも前年同期を上回りました。

この結果、売上高7千2百万円（前年同期比17.9%減）、営業損失1千8百万円（前年同期は1百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、24億2千9百万円（前連結会計年度末は30億5百万円）となり、5億7千5百万円減少しました。これは、主に受取手形及び売掛金の減少5億7千万円があったことによるものです。

(ロ) 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、5億8千万円（前連結会計年度末は5億1千9百万円）となり、6千万円増加しました。これは、主に建物及び構築物（純額）の増加6千3百万円があったことによるものです。

(ハ) 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、5億9千9百万円（前連結会計年度末は7億6千万円）となり、1億6千1百万円減少しました。これは、主に買掛金の減少9千7百万円、未払費用の減少7千6百万円があったことによるものです。

(ニ) 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1億6千2百万円（前連結会計年度末は1億8千2百万円）となり、2千万円減少しました。これは、主に資産除去債務の減少4千2百万円があったことによるものです。

(ホ) 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、22億4千7百万円（前連結会計年度末は25億8千1百万円）となり、3億3千3百万円減少しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少2億7千7百万円、為替換算調整勘定の減少5千6百万円があったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ9千4百万円減少し、18億3千1百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、6千6百万円（前第2四半期連結累計期間は3億8千1百万円の資金の増加）となりました。この主な理由は、税金等調整前四半期純損失2億8千5百万円を計上し、支出として仕入債務の減少8千7百万円、未払費用の減少7千7百万円等がありましたが、収入として売上債権の減少5億4千2百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果減少した資金は、8千4百万円（前第2四半期連結累計期間は8百万円の資金の減少）となりました。この主な理由は、敷金及び保証金の差入による支出8千4百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果減少した資金は、3千9百万円（前第2四半期連結累計期間は2千4百万円の資金の減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出1千9百万円、リース債務の返済による支出1千9百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,982,491	1,887,014
受取手形及び売掛金	903,835	333,321
有価証券	38	38
たな卸資産	27,442	25,440
その他	96,411	204,788
貸倒引当金	△5,143	△21,310
流動資産合計	3,005,076	2,429,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,760	68,046
工具、器具及び備品 (純額)	11,500	12,947
リース資産 (純額)	0	0
有形固定資産合計	16,261	80,994
無形固定資産		
ソフトウェア	6,959	8,655
その他	1,486	—
無形固定資産合計	8,446	8,655
投資その他の資産		
投資有価証券	144,209	141,127
長期貸付金	1,960	1,798
退職給付に係る資産	84,081	85,824
敷金及び保証金	111,996	92,752
繰延税金資産	142,556	164,559
その他	14,971	9,364
貸倒引当金	△4,971	△4,971
投資その他の資産合計	494,803	490,456
固定資産合計	519,511	580,106
資産合計	3,524,588	3,009,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,718	74,547
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	35,430	26,250
リース債務	16,118	37,263
未払金	18,723	17,922
未払費用	181,922	105,127
未払法人税等	8,109	12,247
未払消費税等	12,913	8,052
前受金	118,396	119,904
賞与引当金	69,414	28,079
役員賞与引当金	11,480	3,221
資産除去債務	—	45,425
その他	15,925	21,052
流動負債合計	760,152	599,095
固定負債		
長期借入金	35,400	25,200
リース債務	42,709	93,433
繰延税金負債	37,557	32,730
退職給付に係る負債	3,537	3,409
資産除去債務	50,360	7,823
その他	13,270	—
固定負債合計	182,835	162,597
負債合計	942,988	761,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	722,698	722,698
資本剰余金	557,452	557,452
利益剰余金	1,052,027	774,537
自己株式	△216	△216
株主資本合計	2,331,962	2,054,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270	△45
為替換算調整勘定	249,367	193,278
その他の包括利益累計額合計	249,637	193,233
純資産合計	2,581,600	2,247,706
負債純資産合計	3,524,588	3,009,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,354,547	1,101,678
売上原価	426,672	333,540
売上総利益	927,874	768,138
販売費及び一般管理費	1,060,699	1,041,153
営業損失(△)	△132,824	△273,015
営業外収益		
受取利息	1,049	621
受取配当金	1,000	1,000
貸倒引当金戻入額	1,893	—
為替差益	19,447	—
賃貸料収入	11,034	10,527
受取保険金	—	8,808
雑収入	3,753	3,426
営業外収益合計	38,178	24,383
営業外費用		
支払利息	2,477	2,255
為替差損	—	20,828
持分法による投資損失	846	310
賃貸収入原価	11,034	10,527
雑損失	8,260	3,020
営業外費用合計	22,619	36,942
経常損失(△)	△117,265	△285,574
特別利益		
固定資産売却益	—	253
特別利益合計	—	253
税金等調整前四半期純損失(△)	△117,265	△285,320
法人税、住民税及び事業税	6,273	10,145
法人税等調整額	△18,638	△26,362
法人税等還付税額	—	△8,683
法人税等合計	△12,364	△24,901
四半期純損失(△)	△104,901	△260,418
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△104,901	△260,418

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△104,901	△260,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,064	△315
為替換算調整勘定	76,858	△56,088
その他の包括利益合計	75,793	△56,404
四半期包括利益	△29,107	△316,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,107	△316,823

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△117,265	△285,320
減価償却費	19,835	14,883
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,652	16,035
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,193	△36,639
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,594	△11,364
受取利息及び受取配当金	△2,049	△1,621
受取保険金	—	△8,808
支払利息	2,477	2,255
持分法による投資損益(△は益)	846	310
投資事業組合運用損益(△は益)	767	1,055
固定資産売却損益(△は益)	—	△253
売上債権の増減額(△は増加)	702,468	542,259
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,818	1,274
その他の資産の増減額(△は増加)	△14,455	△16,325
仕入債務の増減額(△は減少)	△66,223	△87,934
前受金の増減額(△は減少)	55,835	5,478
未払金の増減額(△は減少)	△11,654	△5,279
未払費用の増減額(△は減少)	△86,148	△77,252
その他の負債の増減額(△は減少)	△27,591	△2,711
その他	△2,149	835
小計	401,435	50,876
利息及び配当金の受取額	2,031	1,604
利息の支払額	△2,488	△2,371
法人税等の支払額	△19,153	△5,704
法人税等の還付額	—	13,330
保険金の受取額	—	8,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,825	66,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	881
投資事業組合分配金による収入	11,880	1,570
有形固定資産の取得による支出	△2,434	△6,835
有形固定資産の売却による収入	—	253
ソフトウェアの取得による支出	△171	△1,971
教材用コンテンツの取得による支出	△4,609	—
敷金及び保証金の差入による支出	△15,596	△84,261
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,310
貸付金の回収による収入	2,166	—
その他	—	4,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,765	△84,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△19,380	△19,380
リース債務の返済による支出	△5,212	△19,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,592	△39,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,137	△37,441
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	384,604	△94,167
現金及び現金同等物の期首残高	1,650,415	1,926,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,035,020	1,831,999

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準 (IFRS) を適用する在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これに伴い、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースについて使用権資産及びリース債務を認識しており、当該会計基準の適用にあたっては、その経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産が77,379千円、流動負債のリース債務が22,872千円、固定負債のリース債務が71,618千円、それぞれ増加し、利益剰余金が17,112千円減少しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。